

多摩北部医療センター職員の新型コロナウイルス感染について

公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センターに勤務する職員2名が、新型コロナウイルスに感染したことが判明しましたので御報告いたします。

なお、今回の感染確認による診療体制への影響はありません。

1 感染確認の状況

- ・発熱等の症状があった職員1（医療技術員）についてPCR検査を実施したところ、3月17日（水曜日）に「陽性」が判明した。
- ・所管保健所の助言を踏まえ職員1の接触者を調査したところ、濃厚接触者に該当した職員は3名（放射線技師2名及び看護師1名）であった。
- ・この3名についてPCR検査を実施したところ、3月17日に職員2（放射線技師）の陽性が判明した。他の職員2名（放射線技師1名及び看護師1名）については、3月18日（木曜日）に「陰性」を確認した。
- ・陽性が判明した職員2の接触者を調査したところ、接触のあった者は職員22名であり、濃厚接触者に該当すると判断された者はいない。

2 陽性が判明した職員の概要

	職員1	職員2
年代	20代	20代
性別	男性	女性
職種	医療技術員	放射線技師
居住地	都内	都内
現在の症状等	発熱・呼吸苦 当院入院中	症状なし 自宅療養中
陽性判明日	3月17日	3月17日

3 判明している事実

- ・今回陽性が判明した職員2名と濃厚接触者2名の合計4名が、勤務外に長時間狭い空間で軽食を伴う懇談をしていた事実を確認した。ただし、懇談中は4名ともマスクを着用し、室内の換気を行うなどの感染防止策を行っており、当該懇談を感染経路として断定することはできない。
- ・勤務中は常時マスクを着用し、手指衛生を行うなどの標準予防策を実施していた。また、新型コロナウイルス感染症患者と接する際にはガウン等の个人防护具を適切に着用し、定められた手順を遵守していた。

《問合せ先》

公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター
庶務課 中田、阿部 電話 042-306-3105（直通）
公益財団法人東京都保健医療公社事務局
総務課 小俣、内海 電話 03-5577-2133（直通）
事業推進課 沼口、永竹 電話 03-5577-2135（直通）

4 病院の対応等

- ・職員1は現在、呼吸苦等の症状があり、所管保健所の指導に基づき、入院中である。
- ・職員2は現在、無症状であり、所管保健所の指導に基づき、自宅療養中である。
- ・職員1及び2との濃厚接触者である職員2名については、PCR検査の結果陰性であったが、念のため自宅待機としている。
- ・現時点で、職員2と接触のあった職員2名に感染を疑わせる咳・発熱等の症状は認められない。引き続き健康観察を行うとともに、必要に応じてPCR検査を行う。
- ・感染経路は現在のところ不明であり、今後、所管保健所の調査に協力していく。
- ・院内の病棟等は、日々消毒している。
- ・職員のマスク着用や手指衛生等の標準予防策の徹底及び感染管理担当（ICT）による巡回点検を引き続き実施する。

5 今後の診療について

今回陽性が判明した職員は、陽性判明後は病院に勤務していないこと、接触者のあった職員に症状を訴える者はいないこと、病院では手指衛生やマスクの着用などの標準的な院内感染対策を行っていることから、所管保健所の指導・助言を踏まえ外来・入院とも通常診療をこれまでどおり継続する。

6 今回の感染判明について

- (1) マスクの着用や換気等の感染対策を行っていたとはいえ、緊急事態宣言中に職員が長時間狭い空間で懇談を行ったことは、都の政策連携団体である公社病院職員として注意に欠けた行動であり、院長から厳重に注意を行うとともに、院内に改めてルールの徹底について注意喚起を行った。
- (2) 今回の感染判明を受け、本日、公社事務局から全公社病院・所の院長・所長及び事務長に対し改めてルールの徹底について注意喚起を行うとともに、各病院の職員への周知徹底を指示した。

[参考]

これまでの多摩北部医療センター職員の新型コロナウイルス感染報道発表

- ・医師 1名
- ・看護師 9名
- ・医療技術員 1名
- ・医師事務作業補助員 1名

※ なお、本件は上記感染との関連はない。